

第 2 6 回 初級CAD検定試験実施結果

(基準日：令和 8 年 7 月 1 0 日)

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

ま え が き

本協会は、主として工業高校に学ぶ生徒のために、C A Dに関する知識の習得と技能の向上を願い、平成 13 年度にC A D検定制度を発足させ、今日に至りました。

以来、毎年 1 回の検定試験を実施し、今年度で第 26 回を迎えることになりました。

今回を含めた受検者数は延べ 1300,098 名になり、工業高校をはじめ総合学科を有する高校におけるC A D教育の発展と充実に大きく寄与してきたと確信しています。

これはひとえに、日頃からご指導いただいている関係の皆様方からのご尽力の賜と深く感謝を申し上げます。

さて、今日製図教育はC A D等の普及に伴い、その学習環境も大きく変化し、製図教育の内容については総合的に検討することが求められています。

学習指導要領の製図の目標は、「製図に関する日本工業規格及び工業の各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。」と謳われています。

この目標を踏まえC A D教育は、今後も産業社会の発展に貢献できる内容として、製図本来の目的である加工者のための図面でなくてはならない視点と、技術革新に対応するために必要な基礎・基本の理解と定着を図らねばならない視点の両面で、さらに検討を進める必要があると考えています。

令和 8 年度の第 26 回初級C A D検定の実施結果では、参加校 194 校、受検者 5,003 名の参加となり、合格率も一定の状態を保持しております。

本検定の運営につきましては、C A D教育の重要性を考え、なお一層組織的にまた計画的に取り組むことが大切であると考えています。

令和 8 年度初級C A D検定試験の問題作成につきましては、本協会内に検定委員会を設置し、これにあたりました。関係委員の方々に衷心より感謝の意を表す次第です。

第26回 初級CAD検定試験 実施結果

【 R8年度 第26回 】

種別	校数	申込者	受検者	合格者	合格率
機械系	149	3,417	3,345	2,249	67.2%
建築系	71	1,675	1,658	1,284	77.4%
	194	5,092	5,003	3,533	70.6%

【 年度別実績 】

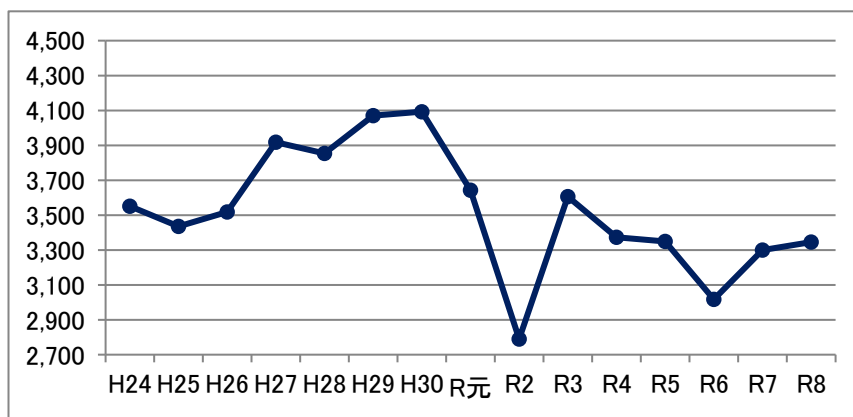
年度・回数	種別	校数	申込者	受検者	合格者	合格率	延べ受検者数
H13～H23年度 第11回まで	-	-	-	50,375	-	-	50,375
H24年度 第12回	機械系 建築系	160 86	3,589 1,742	3,550 1,711	2,615 1,177	73.7% 68.8%	55,636
H25年度 第13回	機械系 建築系	154 86	3,498 1,919	3,435 1,885	1,869 1,194	54.4% 63.3%	60,956
H26年度 第14回	機械系 建築系	157 82	3,578 1,983	3,517 1,937	2,445 1,117	69.5% 57.7%	66,410
H27年度 第15回	機械系 建築系	156 87	4,025 2,089	3,917 2,043	2,810 1,309	71.7% 64.1%	72,370
H28年度 第16回	機械系 建築系	149 85	3,924 2,037	3,853 2,001	2,738 1,303	71.1% 65.1%	78,224
H29年度 第17回	機械系 建築系	166 77	4,164 1,933	4,070 1,937	3,220 1,336	79.1% 70.1%	84,231
H30年度 第18回	機械系 建築系	166 86	4,211 2,089	4,093 2,052	3,018 1,413	73.7% 68.9%	90,376
R元年度 第19回	機械系 建築系	161 81	3,714 1,927	3,642 1,894	2,789 1,288	76.6% 68.0%	95,912
R2年度 第20回	機械系 建築系	119 62	2,885 1,605	2,790 1,589	2,148 1,308	77.0% 82.3%	100,291
R3年度 第21回	機械系 建築系	148 75	3,658 1,964	3,606 1,937	2,711 1,484	75.2% 76.6%	105,834
R4年度 第22回	機械系 建築系	149 72	3,498 1,591	3,373 1,550	2,494 1,270	73.9% 81.9%	110,757
R5年度 第23回	機械系 建築系	161 68	3,457 1,576	3,349 1,540	2,640 1,181	78.8% 76.7%	115,646
R6年度 第24回	機械系 建築系	153 66	3,137 1,569	3,017 1,523	2,351 1,045	77.9% 68.6%	120,186
R7年度 第25回	機械系 建築系	157 65	3,386 1,644	3,299 1,610	2,454 1,165	74.4% 72.4%	125,095
R8年度 第26回	機械系 建築系	149 71	3,417 1,675	3,345 1,658	2,249 1,284	67.2% 77.4%	130,098

受検者数の推移

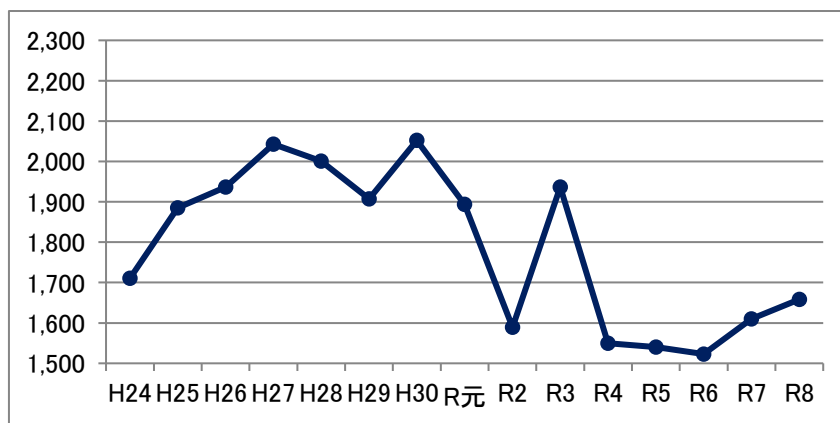
機械系・建築系 合計数



機械系

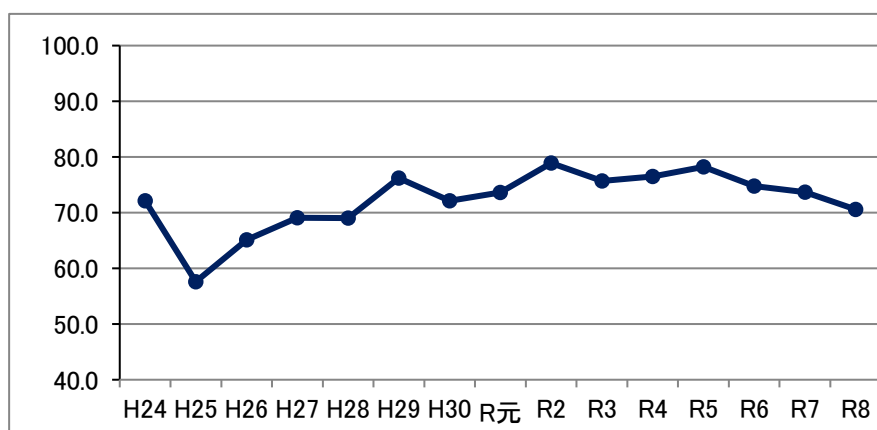


建築系

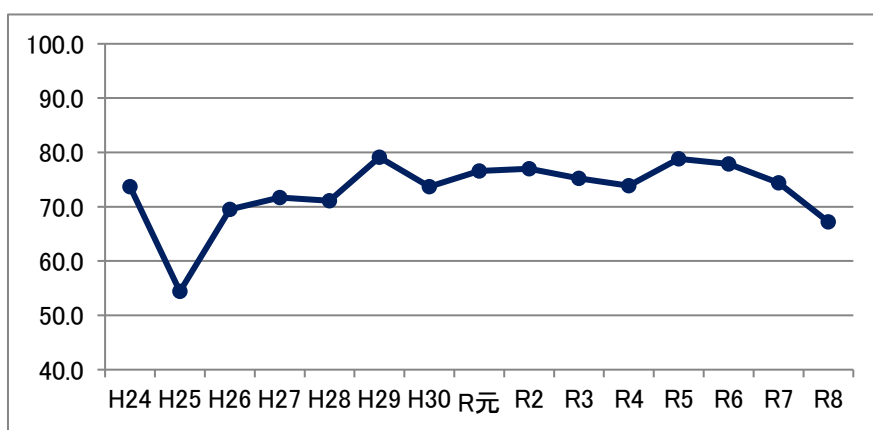


合格率の推移

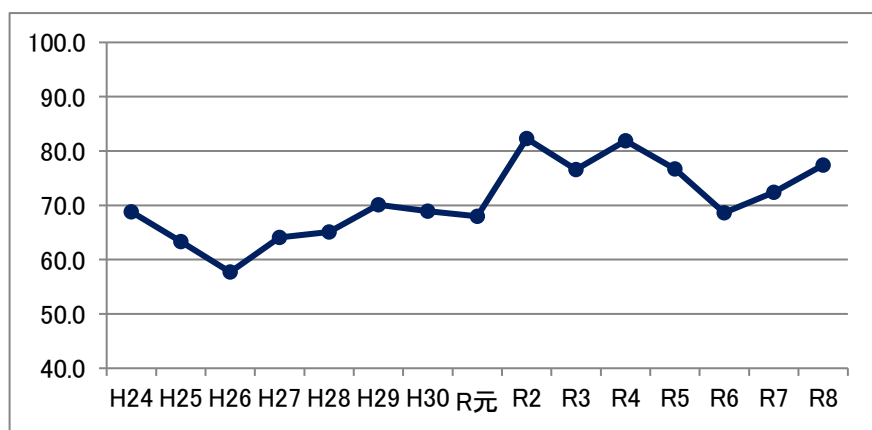
機械系・建築系 合計



機械系



建築系



第26回 初級CAD検定 試験問題・解答

第26回 初級 C A D 検定試験

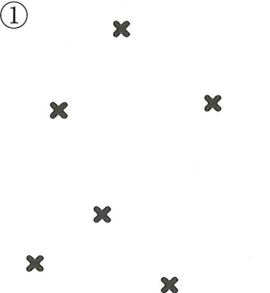
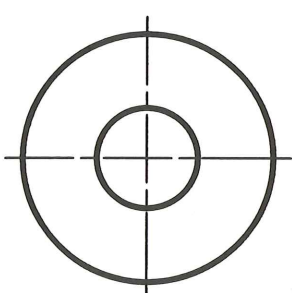
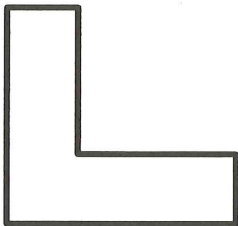
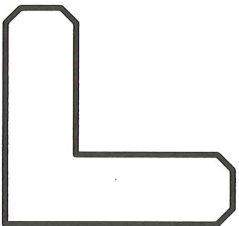
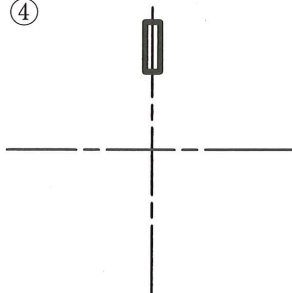
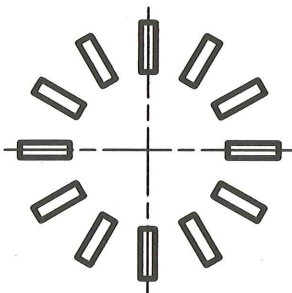
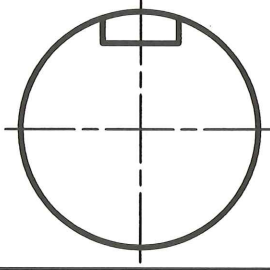
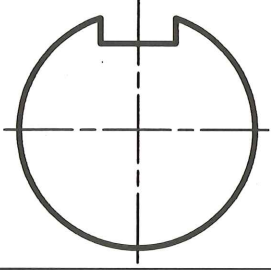
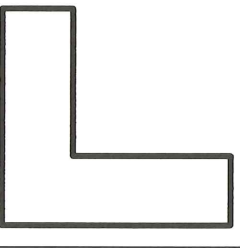
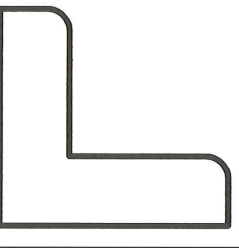
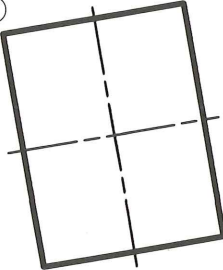
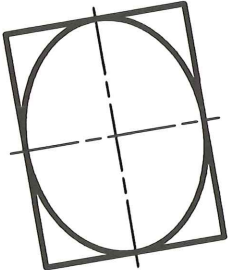
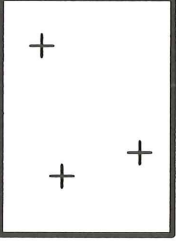
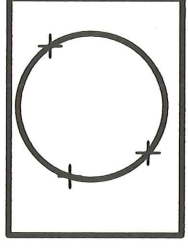
機械系・建築系 筆記試験問題

注 意 事 項

- 1 試験時間は30分です。
- 2 問題①～③は各科共通問題，④～⑥の専門科目の問題は選択方式です。機械系の問題と建築系の問題の順になっていますので注意してください。
- 3 解答用紙は，後ろにあります。共通問題は白，機械系は水色，建築系は黄色の用紙になっています。該当する部分を切り離して使用してください。

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
C A D 検定委員会

1 次の①～⑧の図は操作機能を使って操作したものである。コマンド名を解答群から選び、記号で答えなさい。

操 作 前	操 作 後	操 作 前	操 作 後
① 		② 	
③ 		④ 	
⑤ 		⑥ 	
⑦ 		⑧ 	

解 答 群

- (ア) 三点円

(イ) 面取り

(ウ) 回転移動

(エ) トリミング
- (オ) ハッチング

(カ) 同心円

(キ) 円形状複写

(ク) 回転
- (ケ) ミラー (複写)

(コ) 角丸め

(サ) スプライン曲線

(シ) だ円

- 2 次を示す文は J I S による C A D 用語の定義である。①～⑤に適する語句を解答群から選び、記号で答えなさい。

定 義	用 語
コンピュータの内部に表現されたモデルに基づいて、生産に必要な各種情報を生成すること、及びそれに基づいて進める生産の形式。	①
② 上の点群の 1 次結合として表現された式において、バーンスタイン多項式の積を係数関数として用いた曲面。	ベジエ曲面
境界で隣接した ③ の集合。	シェル
三次元形状の投影図において、実際には隠れて見えない線を表示しないこと。	④
三次元形状の画像を写實的に表現するために、面の傾き、光源の位置などを考慮して、面の見掛けの色や明るさを決定すること。	⑤

(JIS B 3401 : 1993)

解 答 群

- | | | | |
|-------------|------------|---------------|-----------|
| (ア) 点集合 | (イ) 面分 | (ウ) 格子 | (エ) C A D |
| (オ) C A M | (カ) ビュー | (キ) 掃引 (そういん) | (ク) 隠線消去 |
| (ケ) シェーディング | (コ) ネスティング | | |

3 CADシステムの周辺機器・媒体の操作や運用について、次の文中の①～⑩に当てはまる適切な語句を解答群から選び、記号で答えなさい。

- 1 コンピュータで処理された図形や計算結果などを画面上に表示する装置を（ ① ）といい、紙面などに出力する装置を（ ② ）という。
- 2 CADにおいて、異なるソフトウェア間でCADデータを交換する際に、ファイルの保存形式として（ ③ ）を用いることで、ほとんどのCADソフトに対応することができる。
- 3 コンピュータ本体や周辺機器などの制御や、コンピュータが使用する言語を利用者が扱えるように変換する役割をしているものを（ ④ ）といい、ワープロや表計算、画像処理などを行うために開発されたものを（ ⑤ ）という。
- 4 座標位置の指示方法には、原点を基準として位置を示す（ ⑥ ）と、直前の点を仮の原点として位置を示す（ ⑦ ）がある。
- 5 CADシステムのソフトウェアには、一般的な平面図を作成する（ ⑧ ）ソフトウェアと立体図形も作成できる（ ⑨ ）ソフトウェアがある。
- 6 位置を指示するための機構をもった特殊な平板であり、通常は位置入力装置として使用される装置を（ ⑩ ）といい、CADデータなどを表示させる出力装置としても用いられる。

解 答 群

(ア) ベクトル	(イ) 二次元CAD	(ウ) 三次元CAD
(エ) オペレーティングシステム	(オ) アプリケーションソフトウェア	(カ) マウス
(キ) プリンタ	(ク) キーボード	(ケ) DXF
(コ) 相対座標	(サ) 絶対座標	(シ) ディスプレイ
(ス) USBメモリ	(セ) タブレット	(ソ) 3Dプリンタ

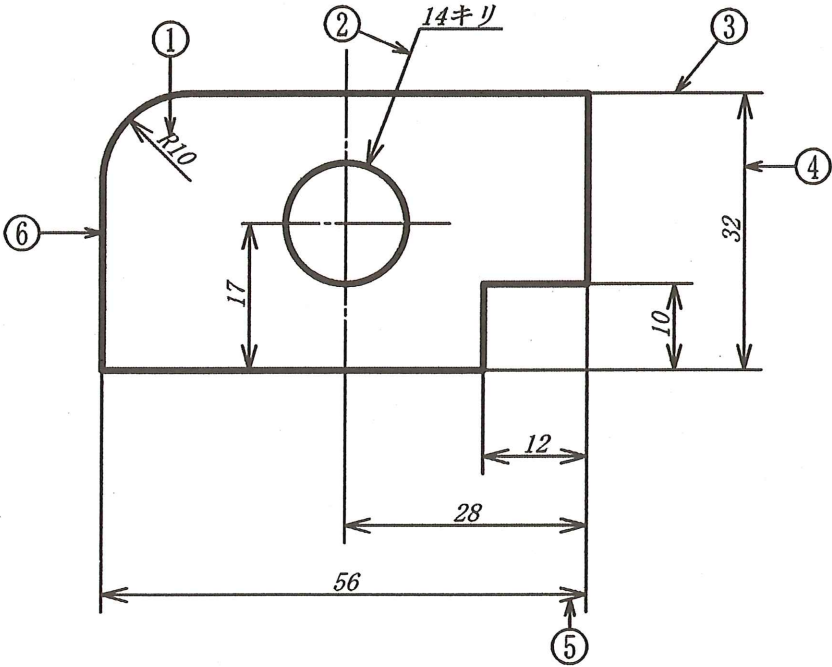
4 「製図 — 寸法記入法 — 一般原則」と「製図 — 図形の表し方の原則」について、次の各問いに答えなさい。

問1 次の意味を表す寸法補助記号を解答群から選び、答えなさい。

意 味	記 号
正方形の辺	①
円の直径	②
ざぐり	③
厚さ	④
穴深さ	⑤

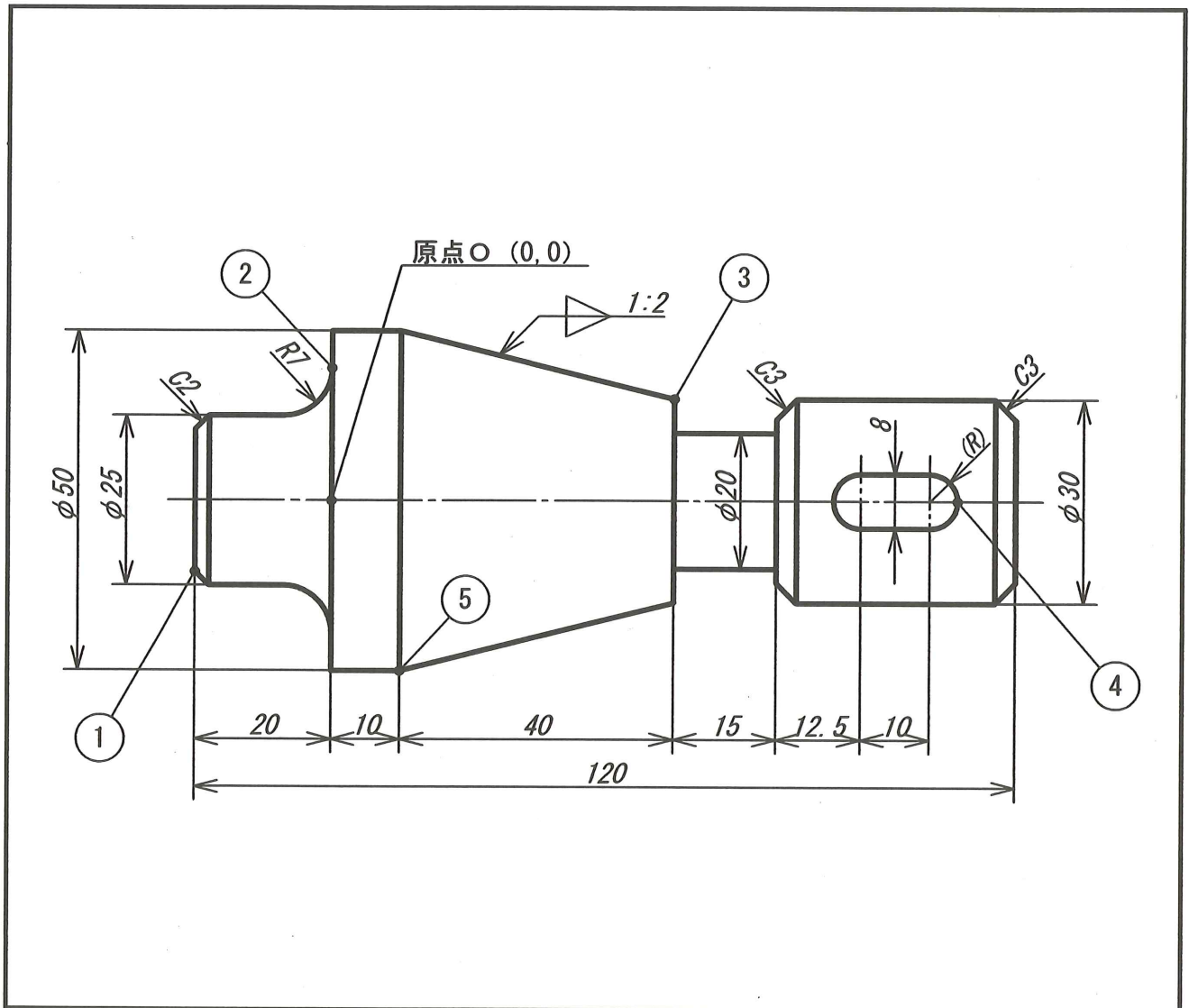
解 答 群
ϕ
R
5ϕ
$\square$
t
$\downarrow$
$\lfloor$
$\circ$

問2 次の図の①～⑥に対する適切な語句を解答群から選び、記号で答えなさい。

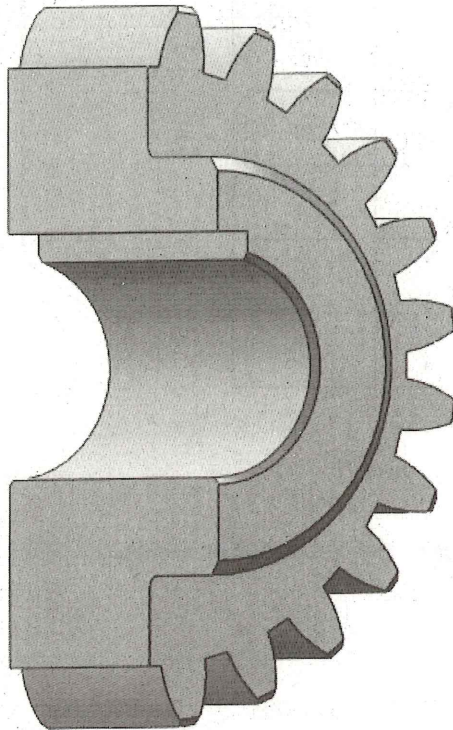


解 答 群			
(ア) 外形線	(イ) 引出線	(ウ) 中心線	(エ) かくれ線
(オ) 寸法補助線	(カ) 端末記号	(キ) 寸法線	(ク) 寸法補助記号

- 5 次の図において、原点Oの座標を(0, 0)とするとき、①～⑤の各点の座標を求めなさい。
ただし、横軸をX軸、縦軸をY軸とする。



- 6 下の図は、平歯車を全断面図示したものである。歯車の図示方法に準じて解答用紙に投影図を完成させなさい。作図に当たっては、定規、コンパス、テンプレートなどを利用して描きなさい。ただし、解答用紙にあらかじめ描かれた線をそのまま「細い一点鎖線」「細い実線」として用いてもよい。



- 4 「製図 — 寸法記入法 — 一般原則」と「製図 — 図形の表し方の原則」について、次の各問いに答えなさい。

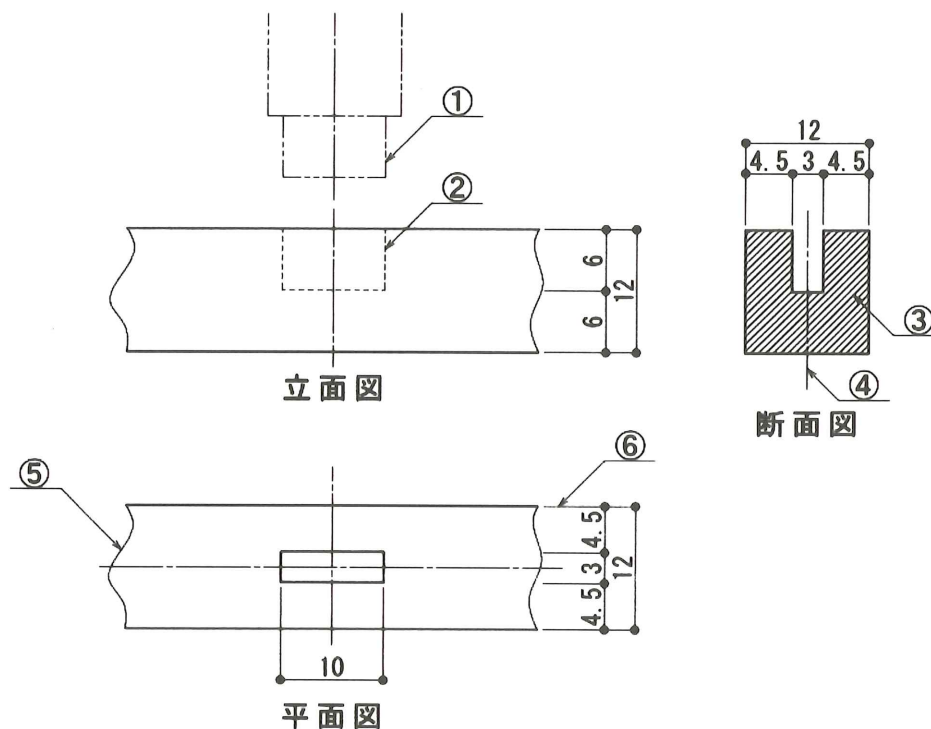
問 1 次の意味を表す寸法補助記号を解答群から選び、答えなさい。

意 味	記 号
板材の厚さ	①
部材の間隔	②
正方形の辺	③
球の直径	④
異形鉄筋の呼び径	⑤

解 答 群

(
 D
 $\square$
 R
 t
 $@$
 $S\phi$

問 2 次の図の①～⑥に対する適切な語句を解答群から選び、記号で答えなさい。

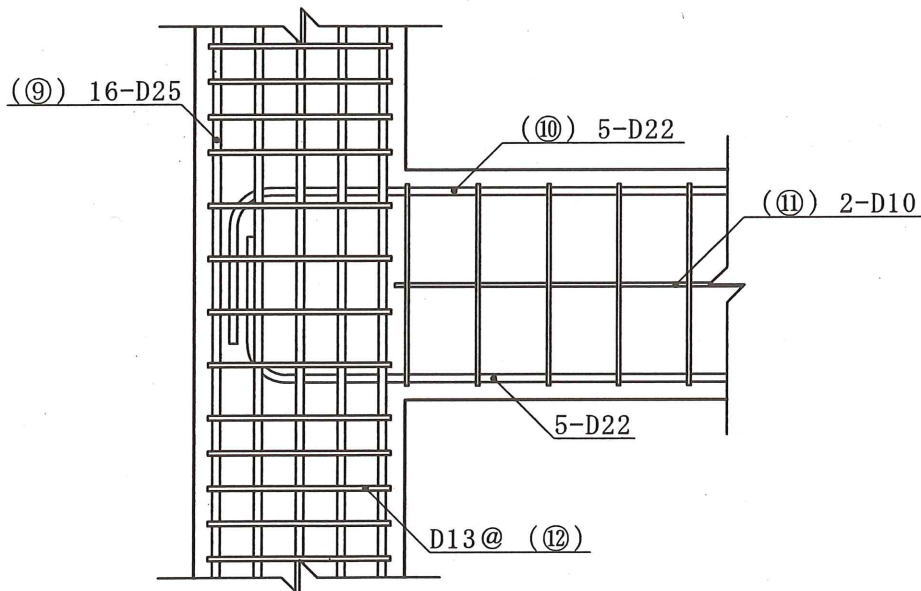
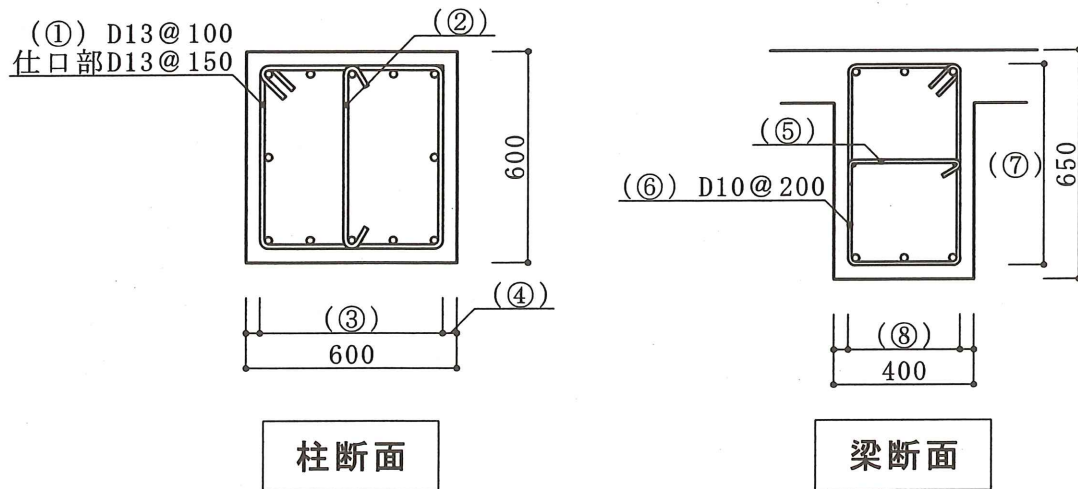


解 答 群

- | | | | |
|-----------|----------|---------|---------|
| (ア) ハッチング | (イ) かくれ線 | (ウ) 参照線 | (エ) 中心線 |
| (オ) 寸法補助線 | (カ) 想像線 | (キ) 破断線 | (ク) 引出線 |

5 次の各問いに答えなさい。

問1 次の鉄筋コンクリート構造の配筋図に関して、①～⑮に適切な語句又は数値を解答群から選び、記号で答えなさい。なお、梁、柱ともにかぶり厚さは40 (mm) とする。

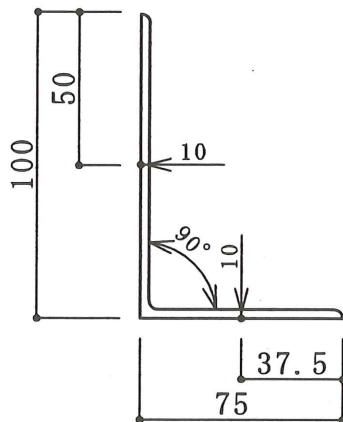


・16-D25とは、(⑬) D25の(⑭)を(⑮)本用いることを示す。

解答群

- | | | | | |
|----------|----------|---------|----------|----------|
| (ア) 16 | (イ) 25 | (ウ) 40 | (エ) 100 | (オ) 150 |
| (カ) 320 | (キ) 520 | (ク) 570 | (ケ) 帯筋 | (コ) 丸鋼 |
| (サ) 副帯筋 | (シ) 腹筋 | (ス) 柱主筋 | (セ) 公称直径 | (ソ) 梁上端筋 |
| (タ) 梁中間筋 | (チ) あばら筋 | (ツ) 呼び名 | (テ) 幅止め筋 | (ト) 異形鉄筋 |

問2 次の図のような不等辺山形鋼の断面寸法の表示として、適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。



解答群

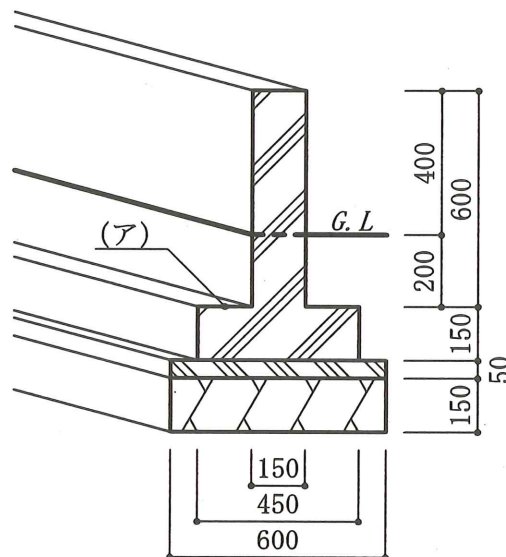
(ア) L-10×75×100

(イ) L-100×10×75

(ウ) L-75×100×10

(エ) L-100×75×10

問3 次の図のような木造建築物の基礎断面図に関する記述について、文中の空欄①～③に適切な語句や数値を答えなさい。

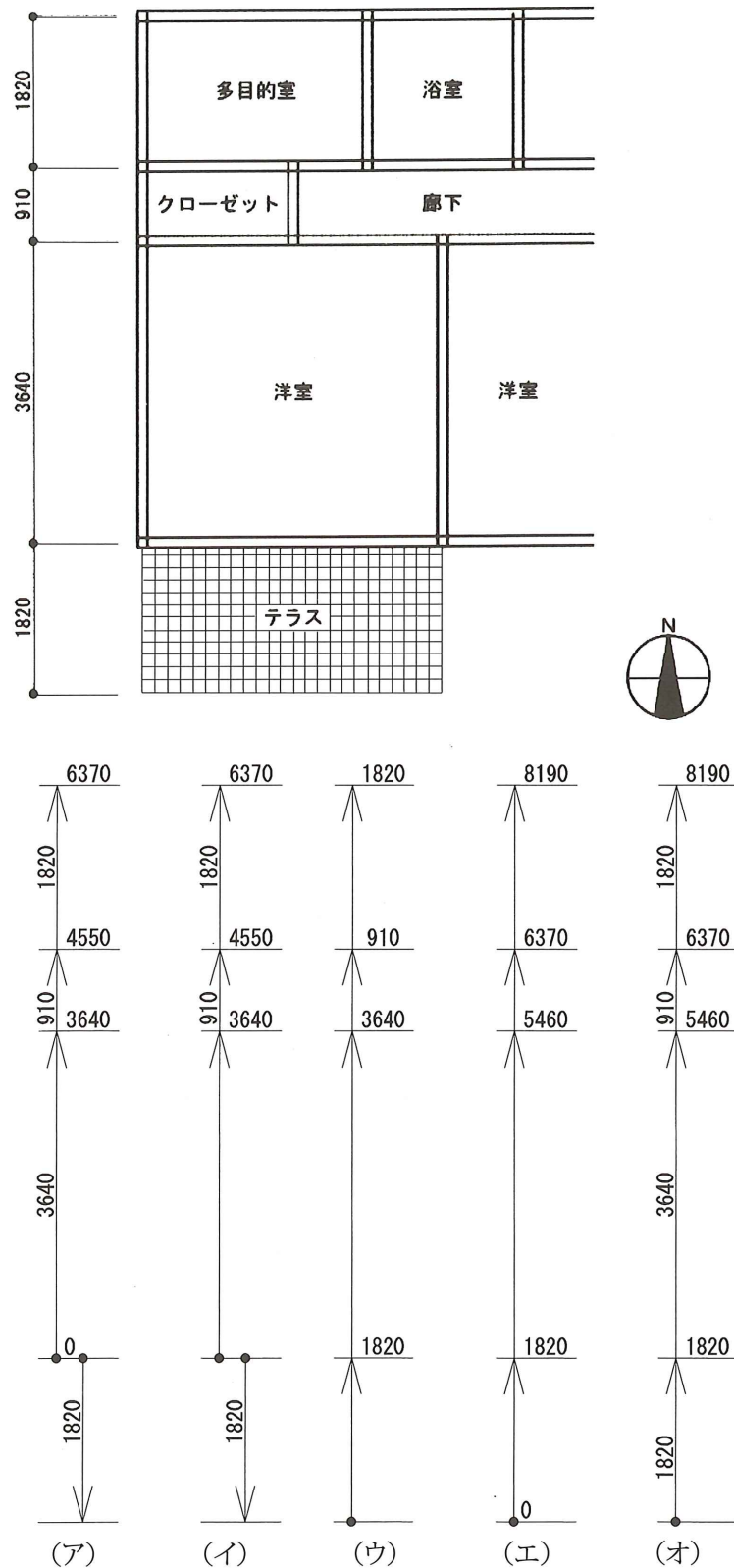


- この基礎の(ア)の部分は、(①)を示している。
- この基礎は、1か所の施工長さが6mであり、その施工箇所は12か所ある。このとき、基礎工事に要するコンクリートの量は、(②) m^3 である。ただし、換気口などによる欠損箇所や鉄筋、捨コンクリートなどは考慮しない。
- 1台のコンクリートミキサー(7t)車に4 m^3 のコンクリートを積み込むと、この基礎工事に必要なコンクリートミキサー車は、(③)台である。

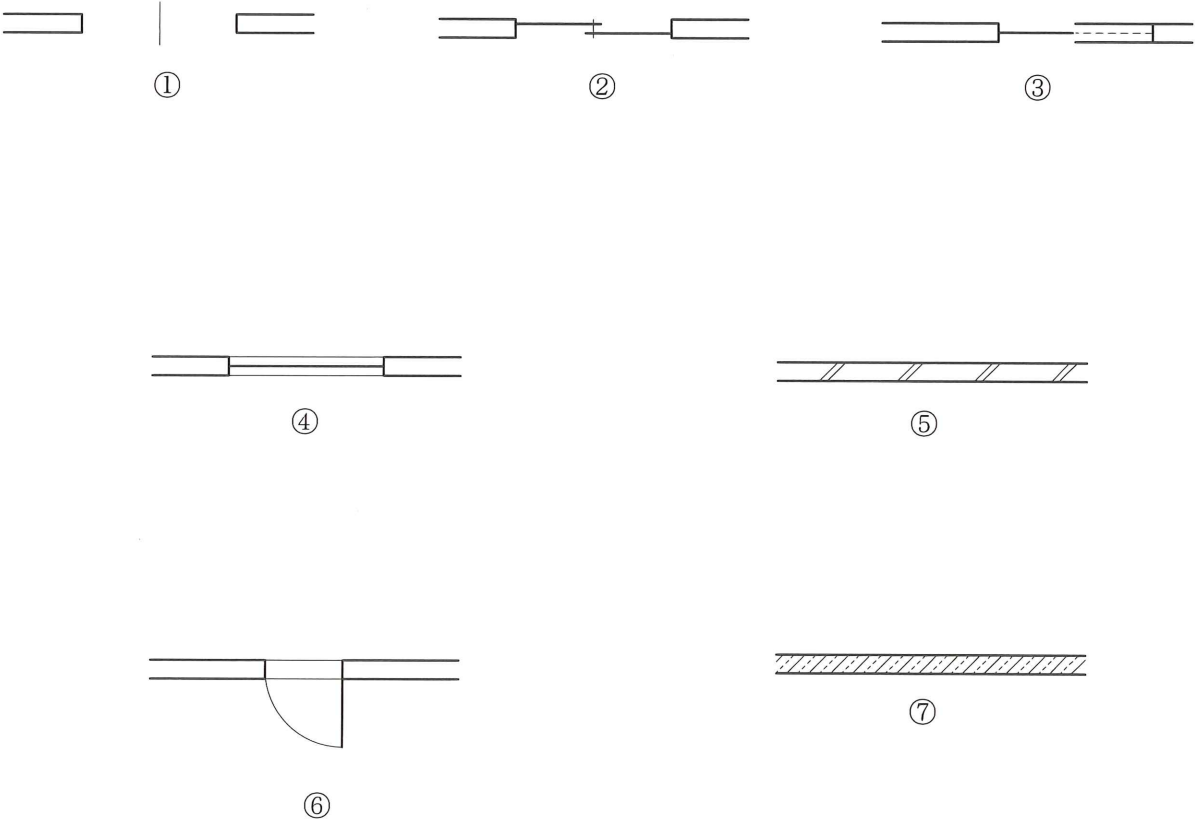
*コンクリートミキサー車の正式名称は、「トラックアジテータ」もしくは「アジテータトラック」である。

6 建築製図の規則について、次の各問いに答えなさい。

問1 次の図のような形状の西側部分の組立基準線を用いて位置を示すとき、(ア)～(オ)のうち、適切なものを選び記号で答えなさい。



問2 次の平面表示記号及び材料構造記号の表示①～⑦について、適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。



解 答 群

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|------------|
| (ア) 石材 | (イ) シャッター | (ウ) 軽量壁一般 | (エ) 出入口一般 |
| (オ) 引違い戸 | (カ) 片開き扉 | (キ) 引込戸 | (ク) はめごろし窓 |
| (ケ) 地盤 | (コ) 割石 | (サ) 片開き窓 | (シ) 回転扉 |

第26回 初級C A D 検定試験 筆記試験解答用紙（共通）

1

①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	

2

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

3

①		②		③		④		⑤	
⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	

受 検 番 号	1	2	3	小 計

第26回 初級CAD検定試験 筆記試験解答用紙（機械系）

4

問 1

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

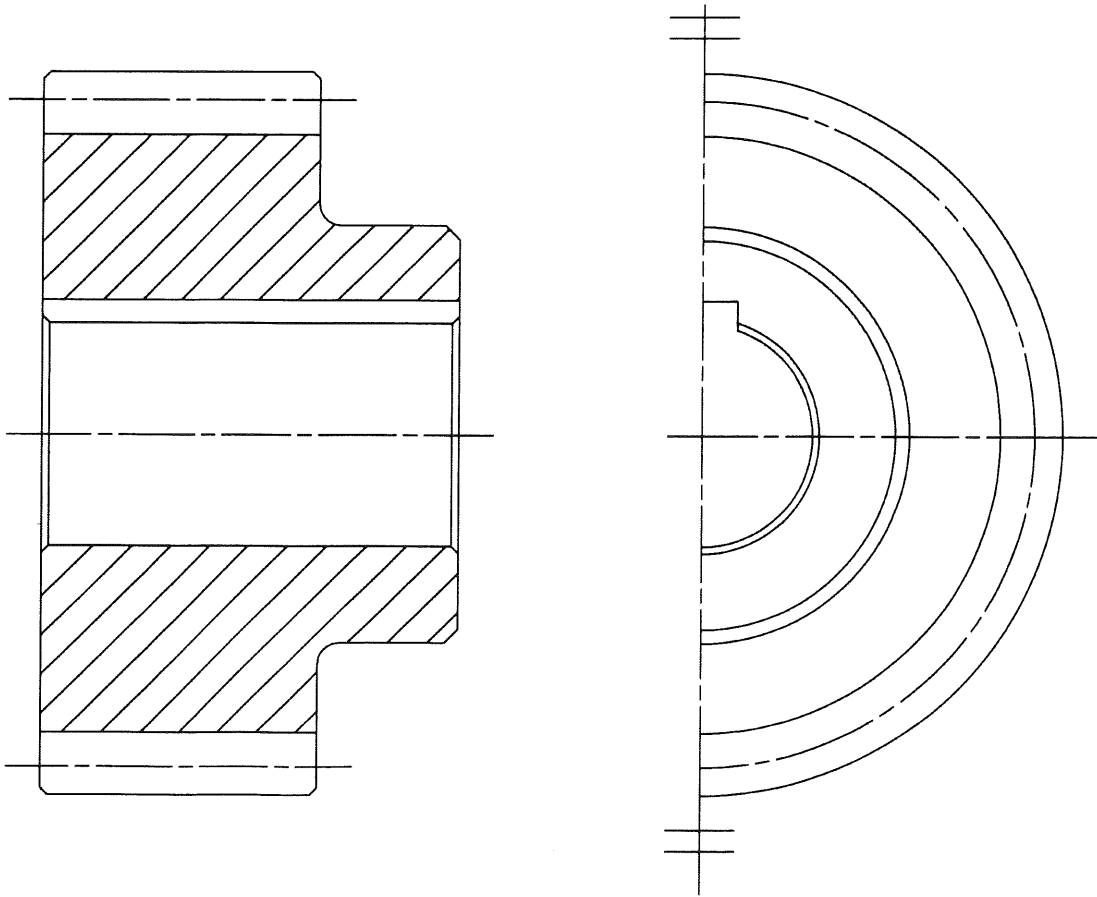
問 2

①		②		③		④		⑤		⑥	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

5

①	(,)	②	(,)	③	(,)
④	(,)	⑤	(,)		

6



受 検 番 号	4	5	6	小 計	合 計

第26回 初級CAD検定試験 筆記試験解答用紙（建築系）

4

問 1

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問 2

①		②		③		④		⑤		⑥	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

5

問 1

①		②		③		④		⑤	
⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	
⑪		⑫		⑬		⑭		⑮	

問 2

--

問 3

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

6

問 1

--

問 2

①		②		③		④		⑤	
⑥		⑦							

受 検 番 号

--

4

--

5

--

6

--

小 計

--

合 計

--

第26回 初級CAD検定試験 筆記試験解答（共通）

1 【1点×8】

①	サ	②	カ	③	イ	④	キ
⑤	エ	⑥	コ	⑦	シ	⑧	ア

2 【2点×5】

①	オ	②	ウ	③	イ	④	ク	⑤	ケ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3 【1点×10】

①	シ	②	キ	③	ケ	④	エ	⑤	オ
⑥	サ	⑦	コ	⑧	イ	⑨	ウ	⑩	セ

受 検 番 号	1	2	3	小 計

第26回 初級CAD検定試験 筆記試験解答（機械系）

4

問1 【4点×5】

①	□	②	ϕ	③	└┐	④	t	⑤	↓
---	---	---	--------	---	----	---	-----	---	---

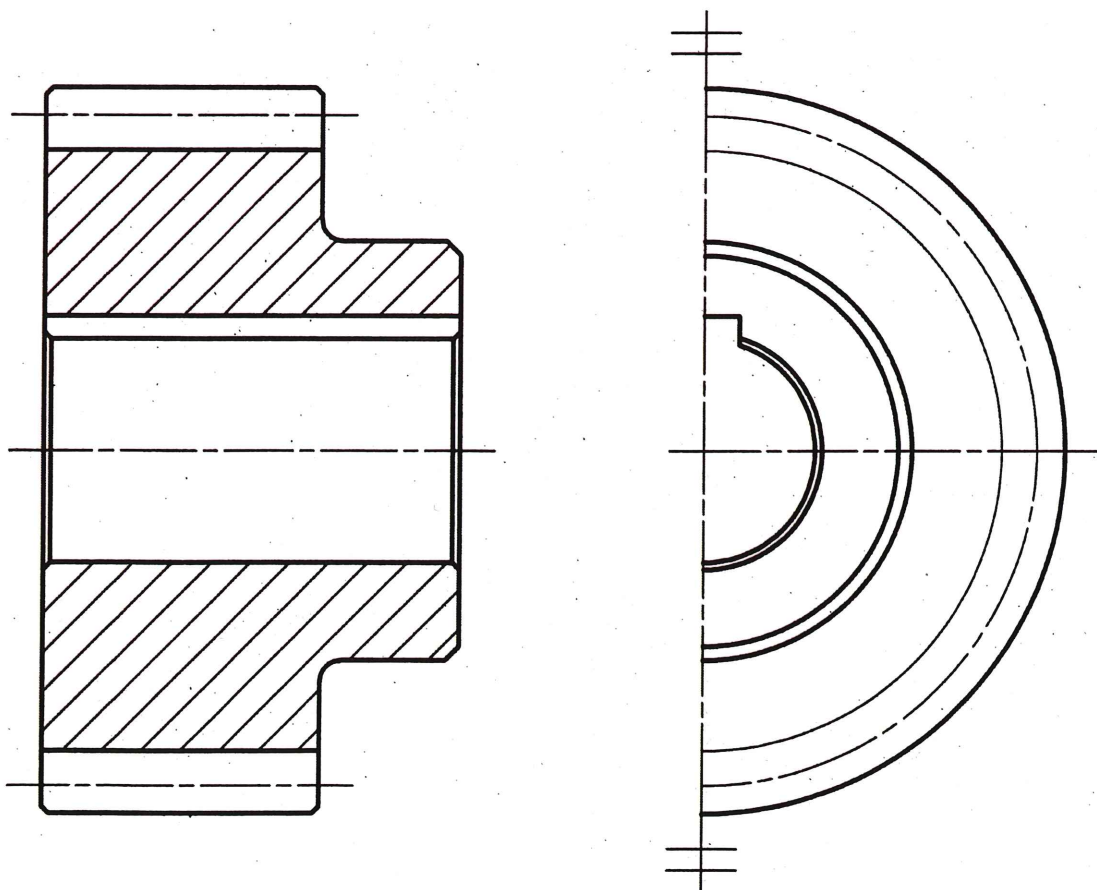
問2 【2点×6】

①	ク	②	イ	③	オ	④	キ	⑤	カ	⑥	ア
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5 【4点×5】

①	(-20 , -10.5)	②	(0 , 19.5)	③	(50 , 15)
④	(91.5 , 0)	⑤	(10 , -25)		

6 【4点×5】

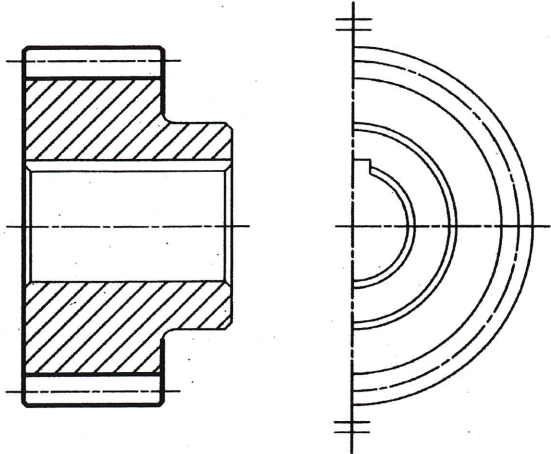
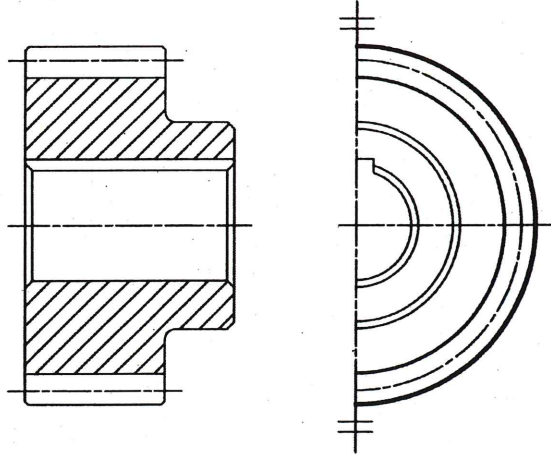
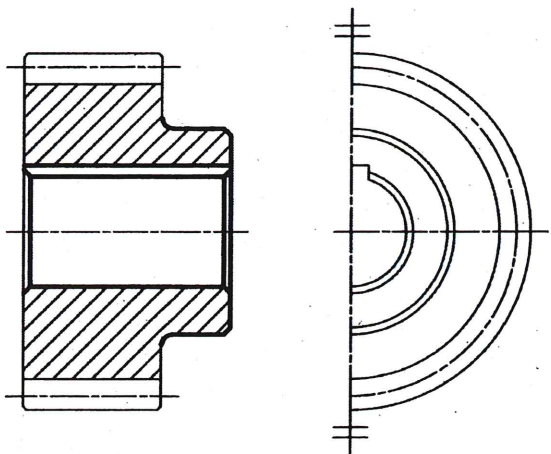
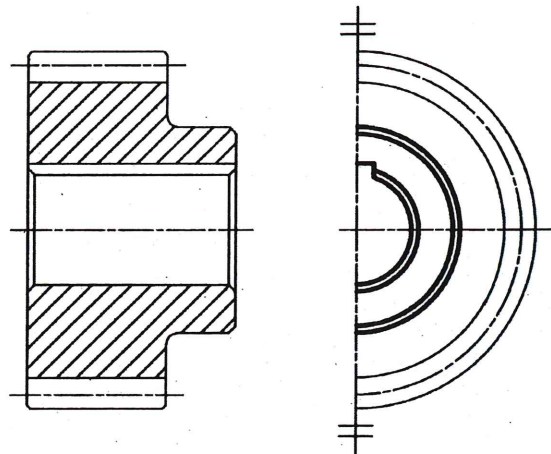
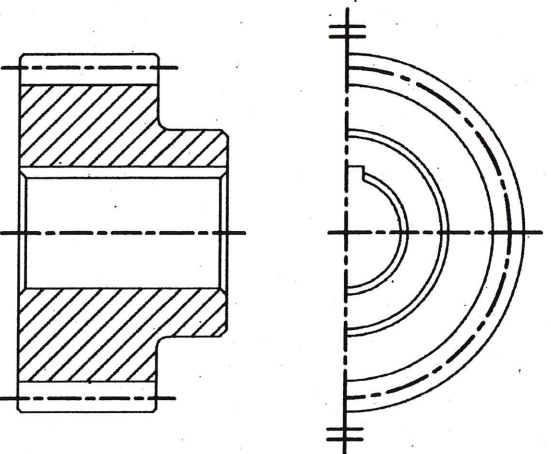


受 検 番 号	4	5	6	小 計	合 計

第26回 初級CAD検定試験 筆記試験採点基準（機械系）

6

以下の作図線が、示されているときには指定された点数を加算する。

	
Fig. 1 4点	Fig. 2 4点
	
Fig. 3 4点	Fig. 4 4点
	
Fig. 5 4点	

第26回 初級CAD検定試験 筆記試験解答（建築系）

4

問1 【4点×5】

①	f	②	@	③	□	④	$S\phi$	⑤	D
---	-----	---	---	---	---	---	---------	---	-----

問2 【2点×6】

①	カ	②	イ	③	ア	④	エ	⑤	キ	⑥	オ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5

問1 【1点×15】

①	ケ	②	サ	③	キ	④	ウ	⑤	テ
⑥	チ	⑦	ク	⑧	カ	⑨	ス	⑩	ソ
⑪	シ	⑫	エ	⑬	ツ	⑭	ト	⑮	ア

問2 【2点×1】

エ

問3 【2点×3】

①	フーチング	②	11.34	③	3
---	-------	---	-------	---	---

6

問1 【3点×1】

イ

問2 【2点×7】

①	エ	②	オ	③	キ	④	ク	⑤	ウ
⑥	サ	⑦	ア						

受 検 番 号	4	5	6	小 計	合 計

第26回 初級 C A D 検定試験

機械系 実技試験問題

注 意 事 項

- 1 試験時間 60分とする。(図面の出力時間は含まない)
- 2 提出方法 所定の用紙に印刷して提出しなさい。
- 3 そ の 他 データの記録・保存等については、各試験場の指示に従うこと。

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
C A D 検定委員会

問 題

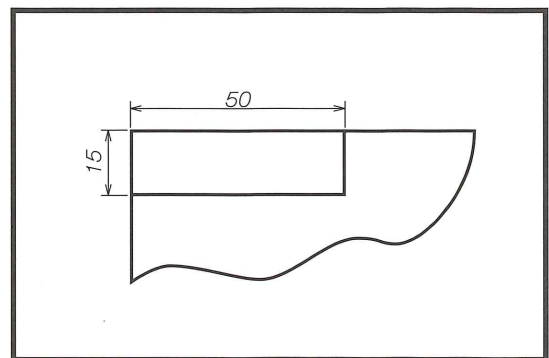
問題用紙に示されている品物は、第三角法で描かれている。

品物の製作図を製図要領に従いC A Dを用いて作図し、完成図を所定の方法で提出しなさい。

ただし、寸法および注記などの記入については、指定された寸法 $\phi 38H7$ のみを記入し、他のものは記入しなくてもよい。

製 図 要 領

- 1 製図にあたっては、関係するJISの製図法に従って描きなさい。
- 2 用紙の大きさはA 4 判として、横置きとする。
- 3 尺度は、1 : 1 とする。
- 4 表題欄および部品欄はなくてもよい。
- 5 輪郭線を描き、左上の内側に、たて15mm, よこ50mmの受検番号を記入する欄を設け、そこに受検番号を記入しなさい。



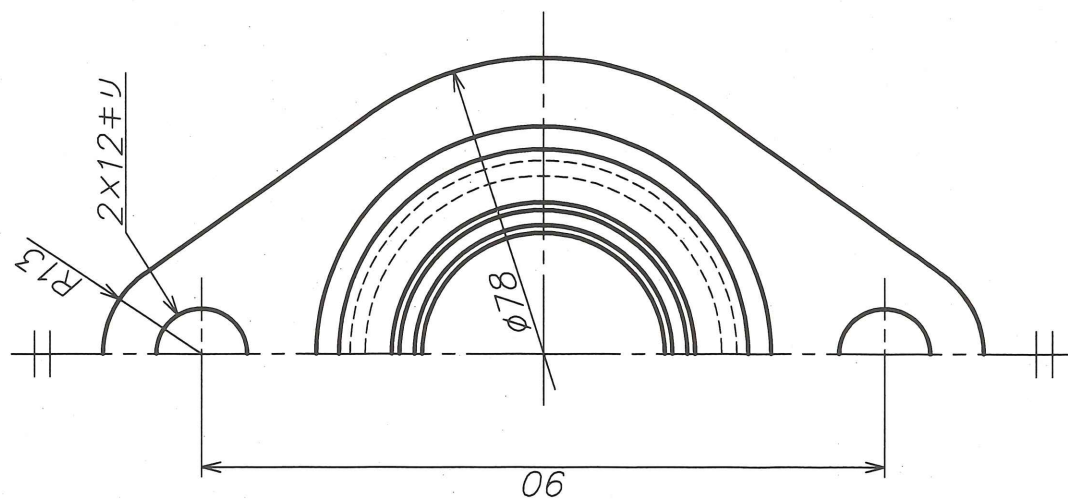
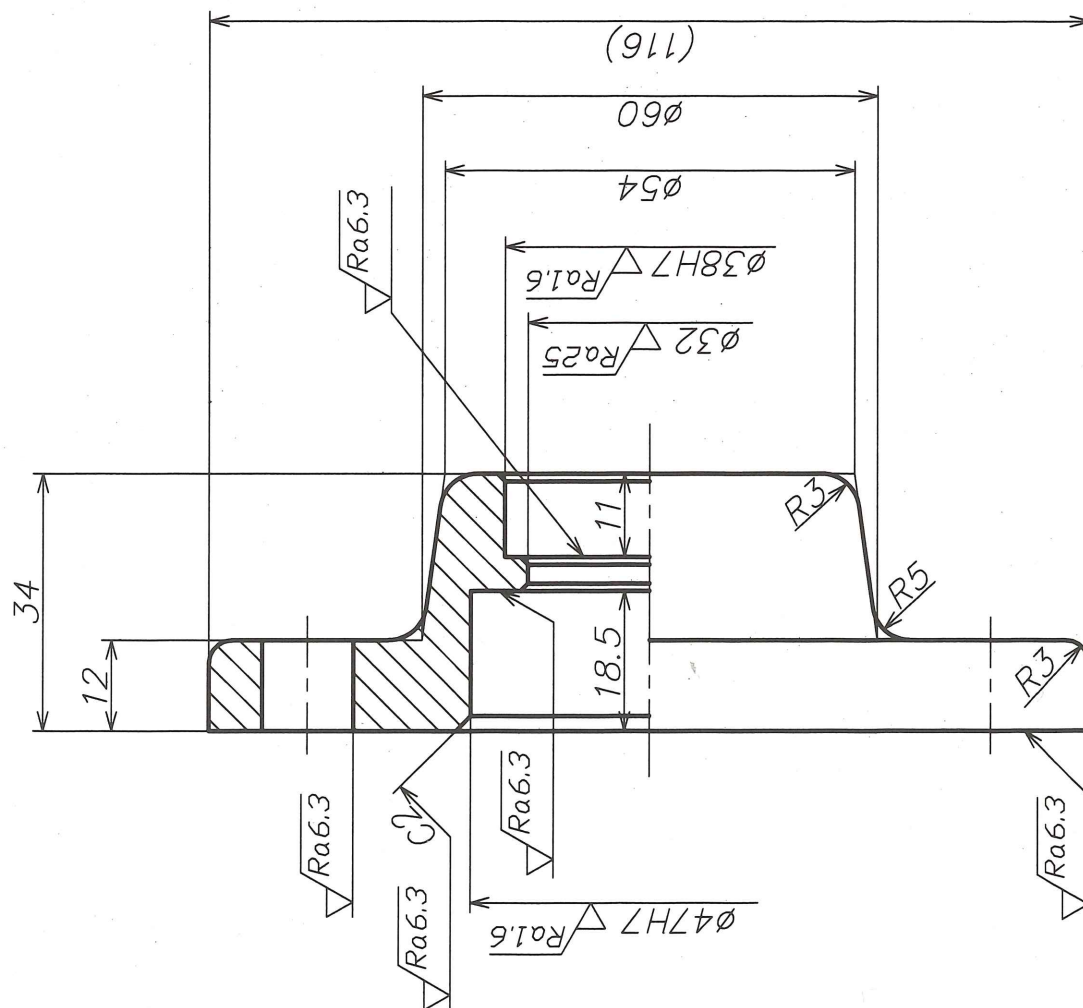
呼吸検査

$$\sqrt{\text{Ra}50} (\sqrt{\text{Ra}25} \sqrt{\text{Ra}6.3} \sqrt{\text{Ra}1.6})$$

注.個々に指示のない面取りの寸法はC1とする

JIS B0419-ck

JIS B0403-CT9



第26回 初級CAD検定試験 実技試験採点用紙（機械系）

- ・ 100点を満点とし，70点以上を合格とする。
- ・ 以下の採点項目について該当するものは，指定された点数を減点する。
- ・ 採点上で問題が生じた場合，採点委員の判断により対応する。

項 目	減 点 の 内 容	点 数
1 図法	第三角法で描かれていない	減点10点
2 図の配置	正しい位置に図が描かれていない	減点10点
3 寸法	指定された寸法 $\phi 38H 7$ が記入されていない	減点 5 点
4 寸法記入法	寸法記入法に準じて記入されていない	減点 5 点
5 線種および線の太さ	線の用法や種類が間違っている	減点10点
6 図形の正しさ	Fig. 1 が未完成または間違っている	減点 5 点
	Fig. 2 が未完成または間違っている	減点 5 点
	Fig. 3 が未完成または間違っている	減点 5 点
	Fig. 4 が未完成または間違っている	減点 5 点
	Fig. 5 が未完成または間違っている	減点 5 点
	Fig. 6 が未完成または間違っている	減点 5 点
	Fig. 7 が未完成または間違っている	減点 5 点
	Fig. 8 が未完成または間違っている	減点 5 点
	Fig. 9 が未完成または間違っている	減点 5 点
	Fig. 10 が未完成または間違っている	減点 5 点
	Fig. 11 が未完成または間違っている	減点 5 点
	Fig. 12 が未完成または間違っている	減点 5 点
減点の合計		
得 点		
受 検 番 号		合 否 判 定
		合 否

判定結果を，合・否いずれかに印を付けてください。

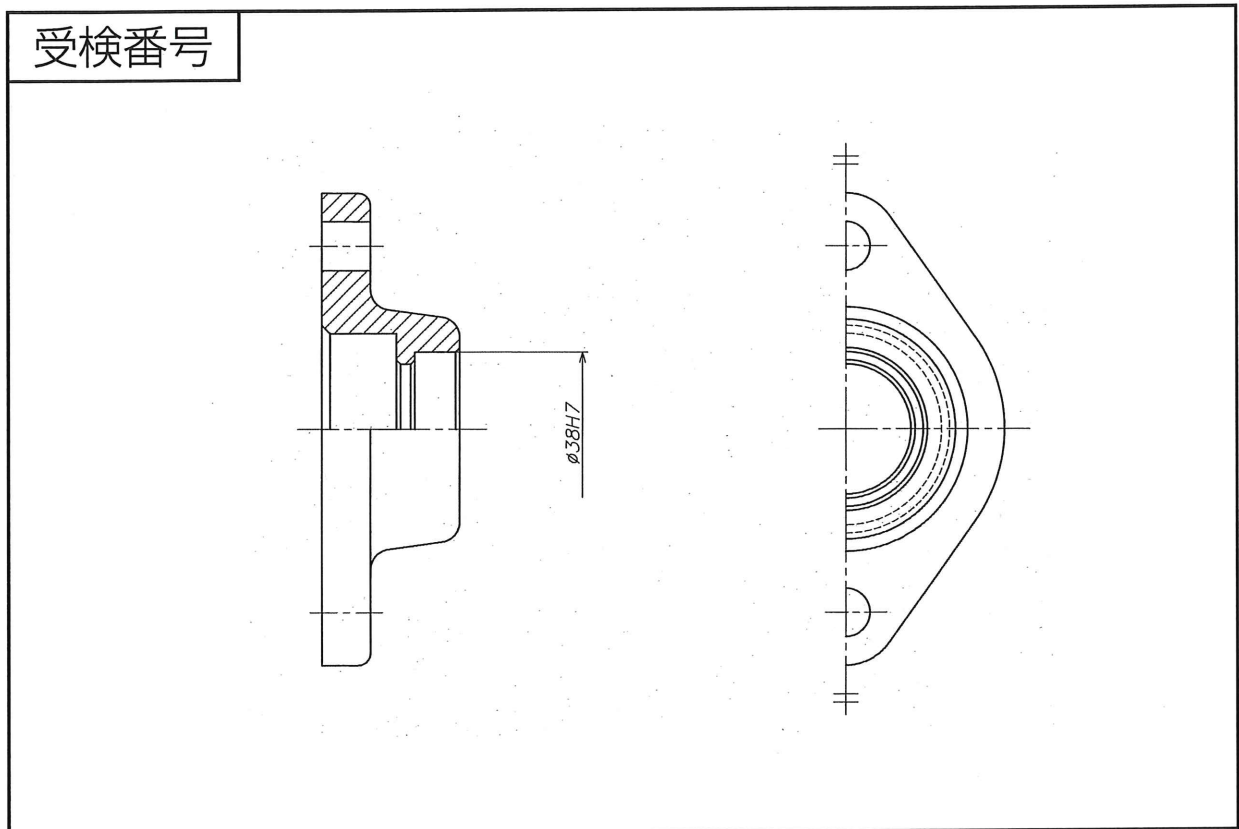
第26回 初級CAD検定試験 実技試験採点基準（機械系）No.1

1 図法【減点10点】

第三角法以外の図法で描かれているときには，指定された点数を減点する。

2 図の配置【減点10点】

投影図の配置が正しくないときには，指定された点数を減点する。



3 寸法【減点5点】

問題中で指示された寸法 $\phi 38H7$ が記入されていないものに対し，指定された点数を減点する。

4 寸法記入法【減点5点】

関係するJISにしたがった寸法記入法以外で，寸法線，寸法補助線，端末記号が記入されている，あるいは未記入の場合に指定された点数を減点する。

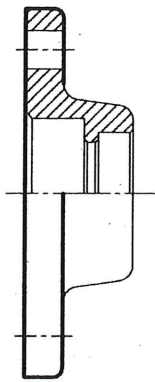
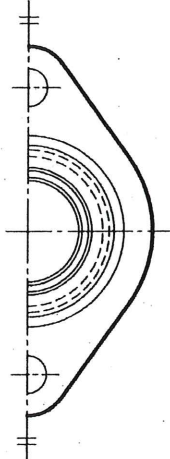
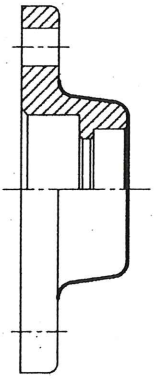
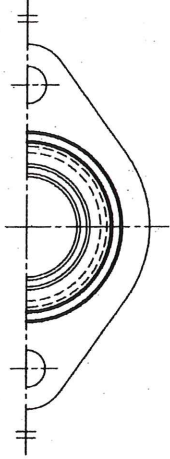
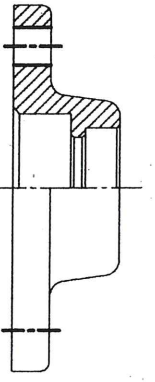
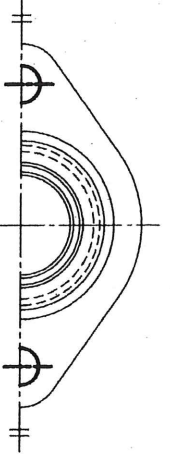
5 線種および線の太さ【減点10点】

関係するJISにしたがった線の用法や種類および太さによって作図されていないものに対して指定された点数を減点する。

第26回 初級CAD検定試験 実技試験採点基準（機械系）No.2

6 図形の正しさ【減点60点】

次に示す作図線が正しい寸法で描かれていない、またはずれているときには、指定された点数を減点する。

	
Fig. 1 5 点	Fig. 2 5 点
	
Fig. 3 5 点	Fig. 4 5 点
	
Fig. 5 5 点	Fig. 6 5 点

第26回 初級CAD検定試験 実技試験採点基準（機械系）No.3

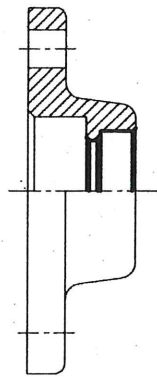


Fig. 7 5点

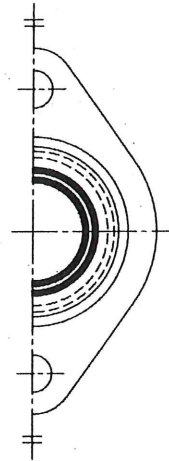


Fig. 8 5点

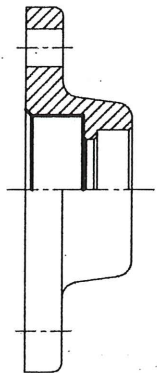


Fig. 9 5点

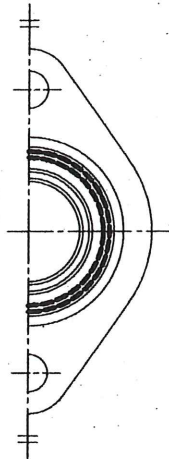


Fig. 10 5点

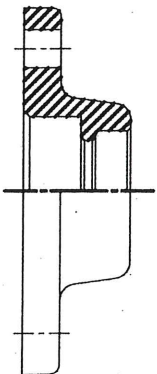


Fig. 11 5点

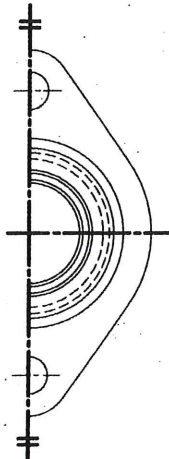


Fig. 12 5点

第26回 初級 C A D 検定試験

建築系 実技試験問題

注 意 事 項

- 1 試験時間 60分とする。（図面の出力時間は含まない）
- 2 提出方法 所定の用紙に印刷して提出しなさい。
- 3 そ の 他 データの記録・保存等については、各試験場の指示に従うこと。

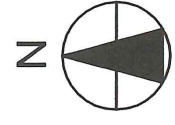
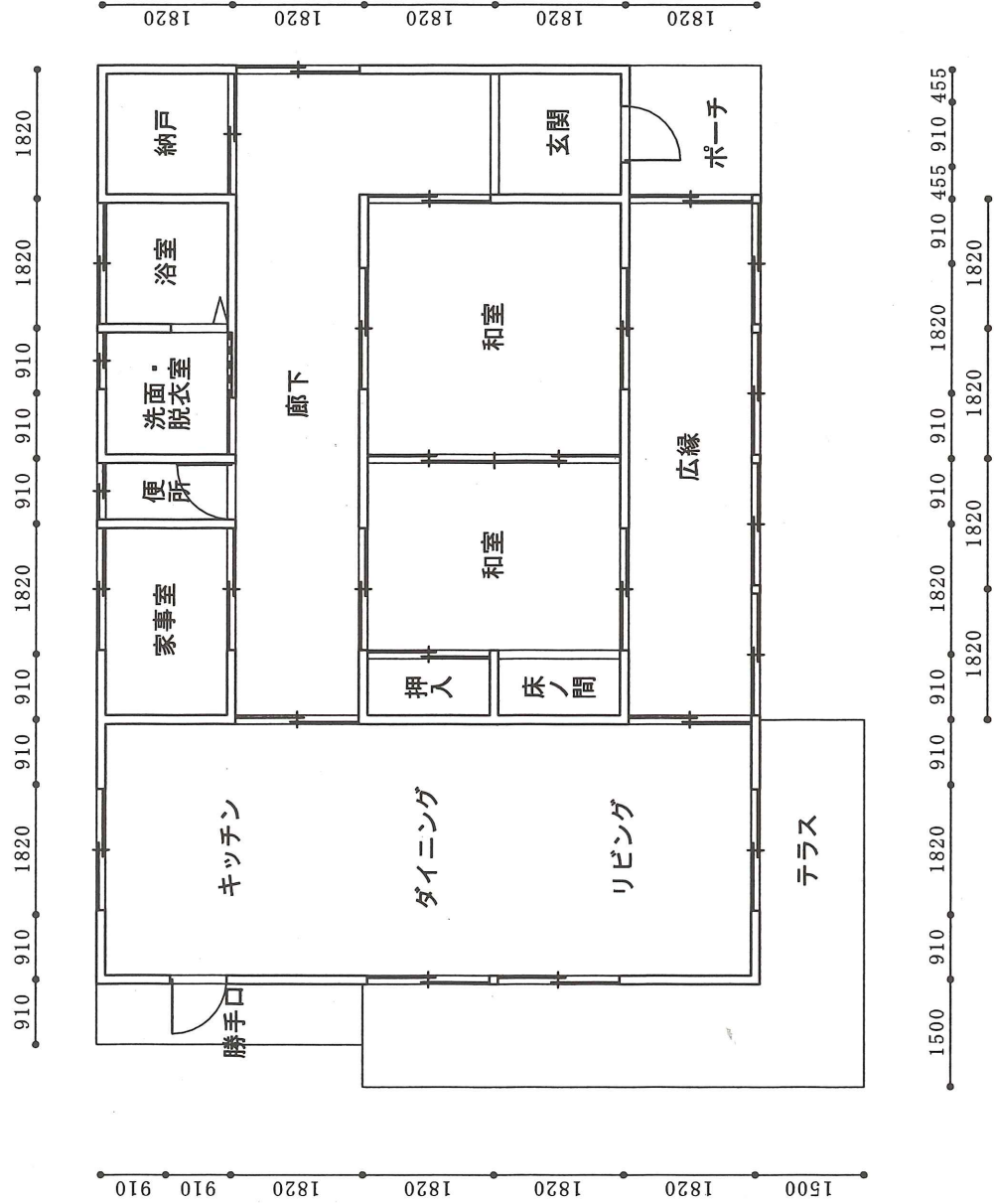
公益社団法人 全国工業高等学校長協会
C A D 検定委員会

問 題

問題用紙に示されている木造平屋建住宅の略平面図について、製図要領に従いC A Dを用いて作図し、完成図を所定の方法で提出しなさい。

製 図 要 領

- 1 製図にあたっては、関係するJISの製図法に従って描きなさい。
- 2 用紙の大きさはA 4 判として、横置きとする。
- 3 尺度は、1 : 100とする。製図表現は尺度に適した表現とする。
- 4 壁、柱の表現は、柱を表現する複線式とし、柱は構造的に必要な位置に正しく配置しなさい。
- 5 床仕上げの表現は、和室・廊下・広縁・ポーチ・テラス・勝手口に、適切な大きさに作図しなさい。
- 6 ダイニングに、テーブル(700×1200) 1つとイス(400×400) 4つを配置しなさい。
- 7 主要な壁位置が表示されるよう、寸法線を4面にわたり表現しなさい。
- 8 受検番号・図面タイトル・尺度・方位マーク・入口の表記など、必要事項を記入しなさい。



略平面図 1 : 100

受検番号

第26回 初級CAD検定試験 実技試験採点用紙（建築系）

- ・100点を満点とし，70点以上を合格とする。
- ・以下の採点項目について該当するものは，指定された点数を減点する。
- ・採点上で問題が生じた場合，採点委員の判断により対応する。

項 目	減 点 の 内 容	点 数
1 受検番号・図面名・尺度	正しく記入されていない	減点10点
2 図の配置	正しい位置に図が描かれていない	減点10点
3 線種及び線の太さ	線の用法や種類が間違っている	減点10点
4 過剰な表現	余分な事項が記入されている	減点 5 点
5 図形の正しさ	柱	減点 5 点
	壁（大壁）	減点 5 点
	壁（真壁，併用壁）	減点 5 点
	開口部（引違い，引戸）	減点 5 点
	開口部（開き，折れ戸）	減点 5 点
	内部仕上げ（畳，フローリング，縁甲板）	減点 5 点
	家具	減点 5 点
	室名	減点 5 点
	外部仕上げ（ポーチ，テラス，勝手口）	減点 5 点
	入口の表記	減点 5 点
	方位	減点 5 点
	寸法線・寸法補助線	減点10点
減点の合計		
得 点		
受 検 番 号		合 否 判 定
		合 否

判定結果を，合・否いずれかに印を付けてください。

第26回 初級CAD検定試験 実技試験採点基準（建築系）No.1

1 受検番号・図面名・尺度【減点10点】

文字高が5 mm以上10mm以内の範囲でなければ、指定された点数を減点する。また、いずれかでも未記入の場合は減点とする。

2 図の配置【減点10点】

用紙はA 4 横置きとし、5 cm以上のズレがある場合は指定された点数を減点する。

3 線種及び線の太さ【減点10点】

関係するJISに従った線の用法や種類および太さによって作図されていなければ、指定された点数を減点する。また課題図以外の線種・太さでなければ減点とする。

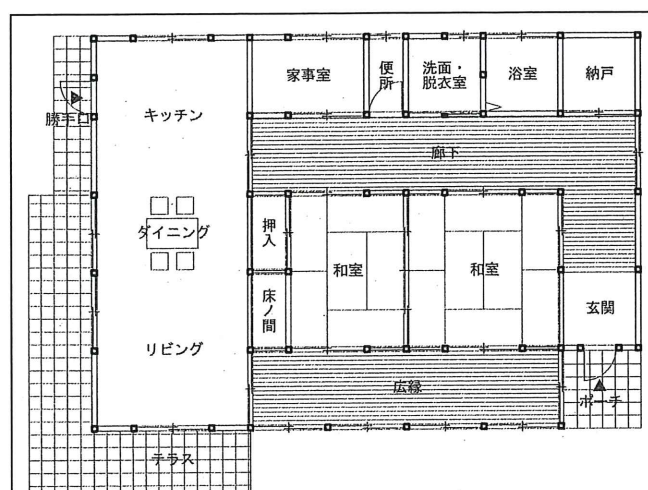
4 過剰な表現【減点5点】

課題図以外の余分な事項が記入されている場合、指定された点数を減点する。また、線の端部の途切れおよびはみ出しも同様に減点とする。

5 図形の正しさ【減点65点】

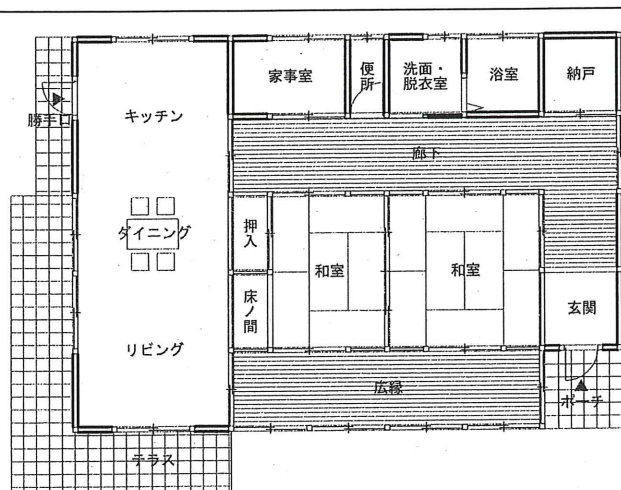
採点基準No. 2～3に示す作図線が、正しい位置・寸法・太さ（解答例参照）で描かれていないときには、指定された点数を減点する。

第26回 初級CAD検定試験 実技試験採点基準（建築系）No.2



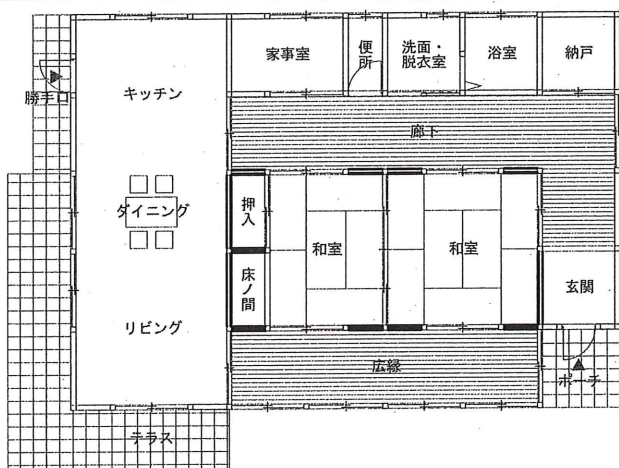
柱

極太線・太線の複線式。細線は減点。ズレも減点。



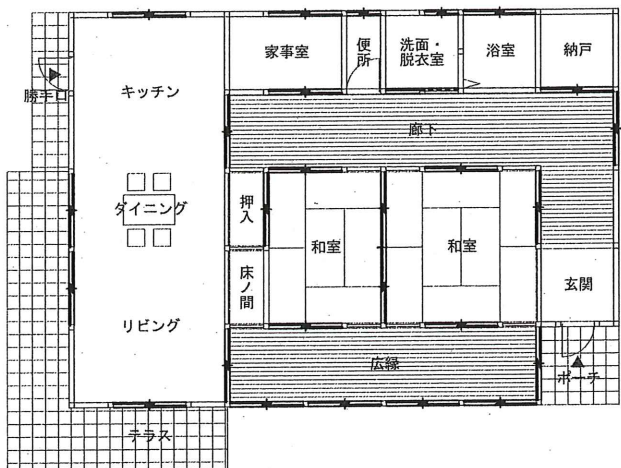
壁（大壁）

極太線・太線の複線式。細線は減点。



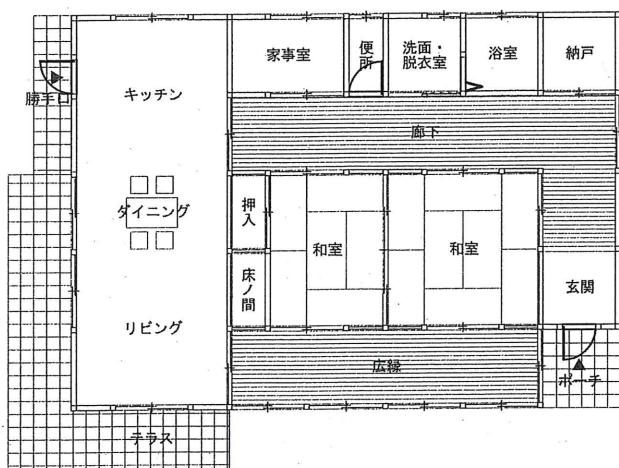
壁（真壁，併用壁）

極太線・太線の複線式。細線は減点。



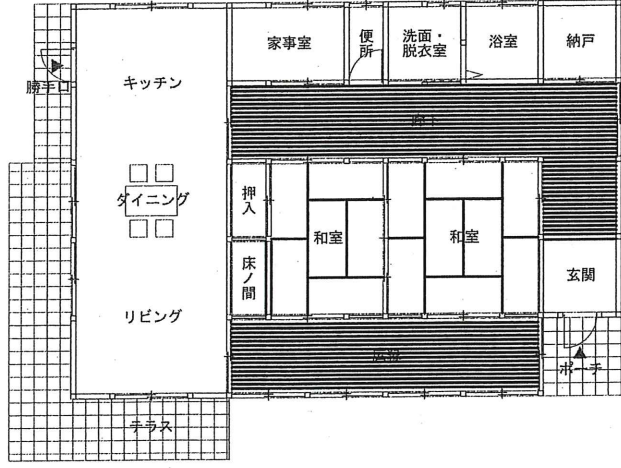
開口部（引違い，引戸）

重なり部分0.5～2 mm以内。



開口部（開き，折れ戸）

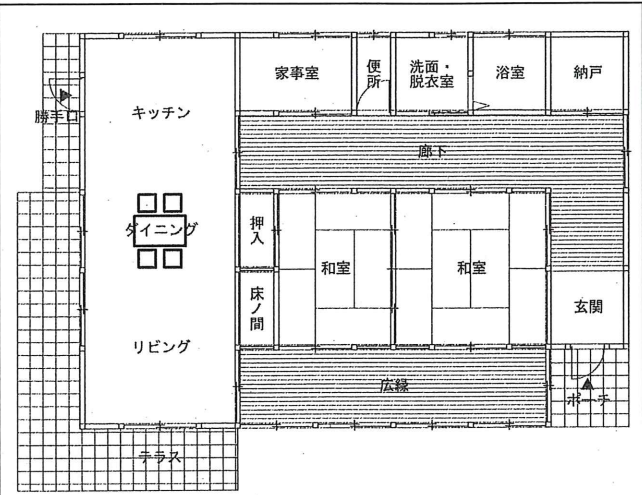
開き方向は，解答例による。



内部仕上げ（畳，フローリング，縁甲板）

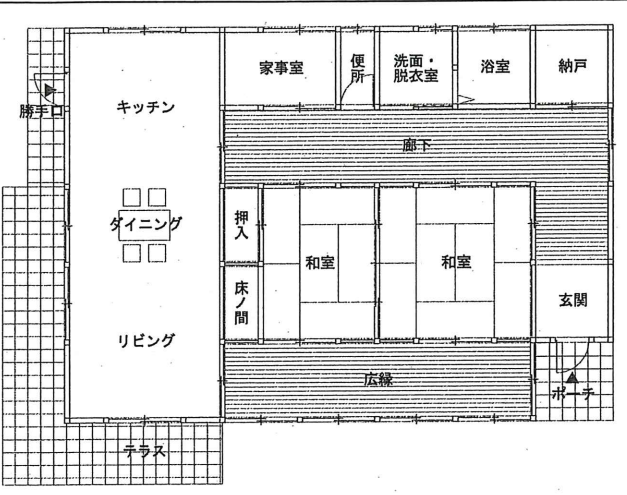
細線とし，1～3 mm以内で床仕上げに応じる。
畳割は，解答例による。

第26回 初級CAD検定試験 実技試験採点基準（建築系）No.3



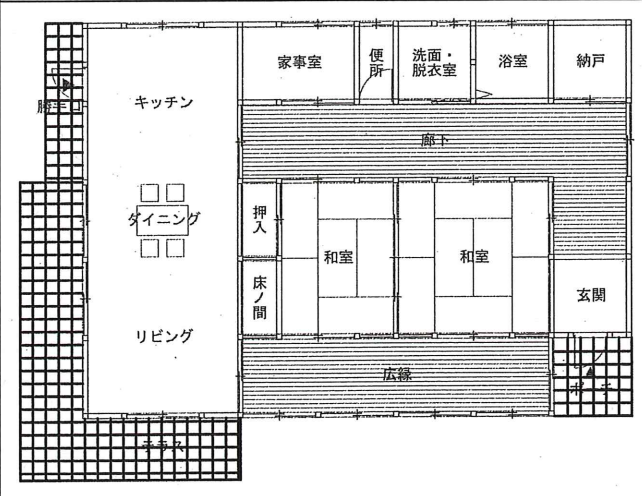
家具

指定されたダイニングにのみ配置する。



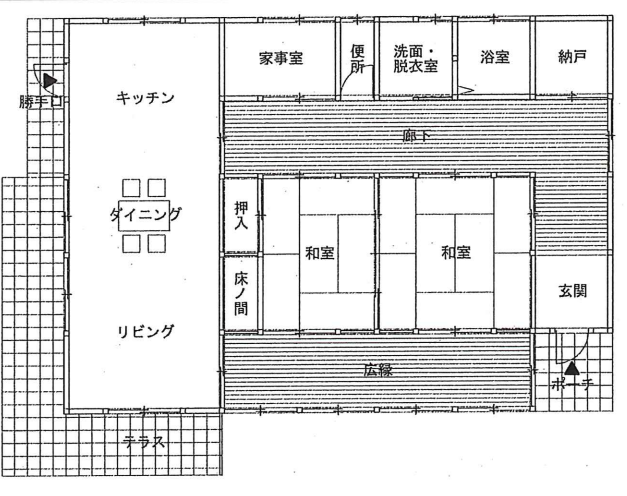
室名

文字高 3 ～ 5 mm 以内。



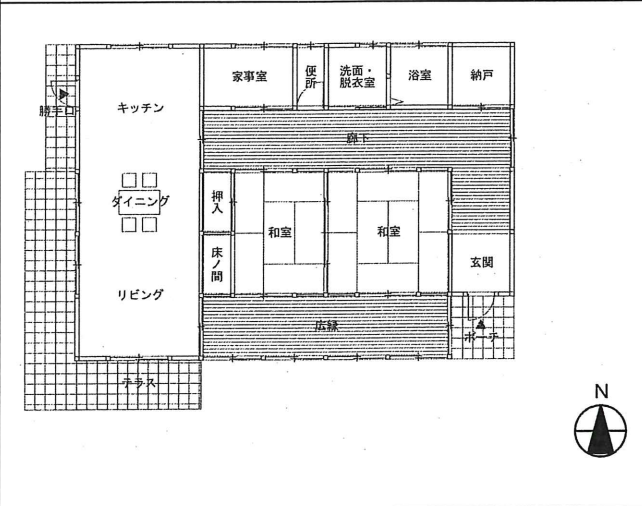
外部仕上げ（ポーチ、テラス、勝手口）

目地は□300程度。



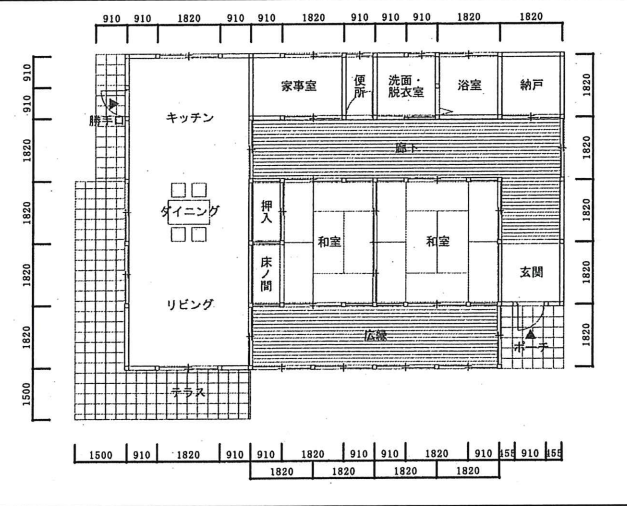
入口の表記

3 ～ 10mm 程度。



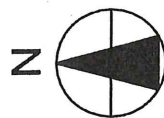
方位

直径15mm程度。



寸法線・寸法補助線

文字高は 3 ～ 10mm 以内。



略平面图 1:100

吟
審
檢
受

解答例